

# 40<sup>th</sup> anniversary

PASSION

INNOVATION

CHALLENGE



**ADORES 41st Business Report**  
株主通信 2007.4.1 - 2008.3.31



## 株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、平素より当社事業に対し格別なるご理解・ご愛顧を賜り御礼申し上げます。

第41期の株主通信をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

代表取締役社長 **中川 健男**

売上高

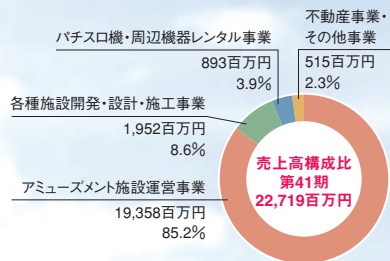
**22,719**百万円  
(前期比 10.9%UP)

経常利益

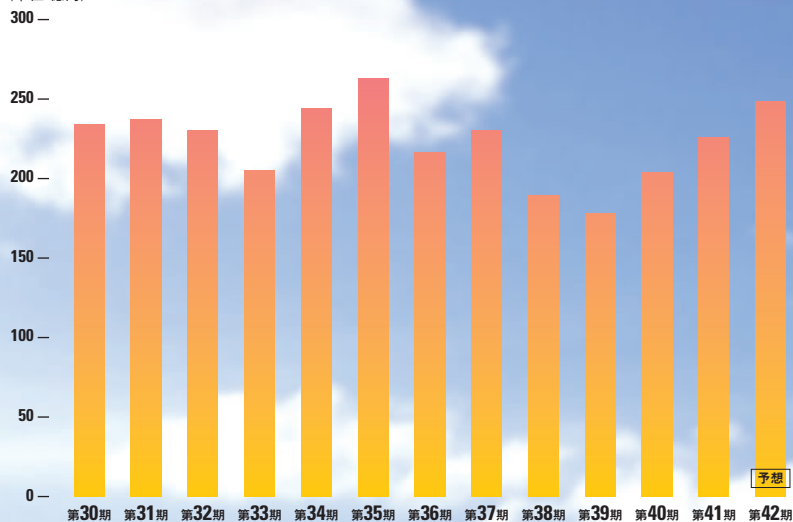
**1,917**百万円  
(前期比 51.2%UP)

当期純利益

**827**百万円  
(前期比 137.7%UP)



(単位:億円)



日本証券業協会 (現ジャスダック証券取引所) に株式を店頭登録

株式会社シグマ、株式会社テクニカルマネジメント、株式会社環境デザインの3社が合併し、社名をアドアーズ株式会社に変更

神奈川県横浜市に、アドアーズブランドでの第1号店「アドアーズ鶴見店」開設

おかげさまで40周年

## 当期業績について

当社が属するアミューズメント業界におきましては、緩やかな景気拡大に支えられる形で安定成長を続けておりましたが、市場不安や物価高騰による消費マインドの慎重化や競合娯楽産業である家庭用ゲーム機器の躍進、各種法令の強化等が追い討ちとなり、大手オペレーターを中心に事業展開の見直しが進むなどの厳しい市場環境をむかえております。中小規模のオペレーターにおきましても、上記市場環境の変化による影響を受けた他、従来からの遊戯機器の大型・高価格化は加速傾向にあり、統廃合も依然として進みつつあるなど、業界全体として予断を許さない状況が続いております。

このような経済環境の中、当社は激変する市場環境に対応すべく、代表取締役社長の変更や大規模な自己株式の取得など、経営体制の強化・機動的な資本戦略実現の基盤構築を進めてまいりました。

また事業活動面におきましても、お客様視点に立った市場競争力の確保を重視した拡大成長戦略のもと、中核事業であるアミューズメント施設運営事業の強化を中心に取り組みました。この結果、新規店舗の出店は計画の5店舗を上回り、近年最多となる年間7店舗を達成いたしました。また、既存店では業界全体が不振に喘ぐ中、17ヵ月連続で売上高が前年同月を上回るなど、前期から続く好調な業績を維持・加速させております。

以上の結果、当事業年度における業績は、売上高22,719百万円（前期比+10.9%）、営業利益1,935百万円（同+51.3%）、経常利益1,917百万円（同+51.2%）、当期純利益827百万円（同+137.7%）と増収増益となりました。

前事業年度対比で増収となりました要因は、前述の通り、主力のアミューズメント施設運営事業の好調さによって、外部環境悪化による施設施工事業の受注減やレンタル事業の契約終了等による売上の減少を補えたことによるものです。

収益面におきましては、前述増収要因に加え、全社一丸となって取り組んだ効率的な組織運営におけるコスト削減の推進により、一部不良資産を減損処理したものの、大幅な増益となりました。

## 40周年を迎えて

当社は平成19年12月25日をもちまして設立40周年を数えることとなりました。これもひとえに株主各位をはじめ、関係各位のご支援、ご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。平成20年3月期の期末配当は1株あたりの普通配当7.0円に、設立40周年の記念配当3.0円を加えた、合計10.0円へと増配いたします。

## 来期に向けて

来期におきましても、厳しい市場環境は依然続くものと推測されますが、これを絶好の機会と捉え、現状維持にとどまることなく更なる成長を目指し、市場競争力を重視した拡大成長戦略のもと業績の拡大に邁進する所存であります。また当社が標榜する「AM専業オペレーターNo.1」となるためには変化対応力が不可欠であると認識し、経営・営業両体制の更なる強化や人材教育を含めた社内改革も推進してまいります。

# アドアーズ この1年

05.22

北海道初進出

アドアーズ  
札幌北42条店オープン



05.26

アドアーズ  
札幌狸小路店オープン



07.14

アドアーズ 池袋西口店  
全面リニューアル

07.20

アドアーズ  
川崎店リニューアル

10.18

アドアーズ  
荻窪店リニューアル

10.01~12.12

当社初となる  
接客コンテストと  
お客様アンケートを  
実施しました

2007

4月

04.27

アドアーズ  
草加店リニューアル

04.27

アドアーズ  
和光店リニューアル

5月

6月

08.03

自己株式を  
取得しました

株主価値向上および  
経営戦略・経営環境  
に対応した機動的な  
資本政策遂行のため  
取得いたしました。  
(18百万株)

7月

09.01

アドアーズ  
サンロード店増床

09.08

アドアーズ  
新小岩店オープン

09.23

アドアーズ  
鶴見店・A館リニューアル

8月

09.28

自己株式を消却しました

8月に取得しました180万株の自己株式の内半  
分に当たる90万株を消却いたしました。残りの  
90万株の自己株式は、M&Aでの株式交換や  
安定株主構築による経営基盤の強化など、総  
合的な企業価値増大のために用いる予定です。

09.30

アドアーズクラブメンバーズ  
30万人突破しました

(06.04.01時点は16万人)

9月

10.27

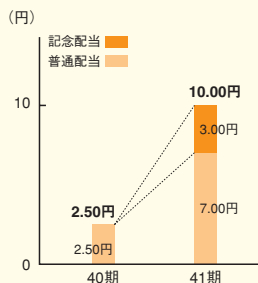
### アドアーズ 川越店オープン



03.17

### 増配を決定しました

当期は、事業進捗・収益が堅調に推移したことに加え、2007年12月25日をもって設立40周年を迎えたことから、株主の皆様への感謝の意を表すため、2008年3月期の期末配当金を普通配当7.00円に、設立40周年記念配当3.00円を加えた、合計10.00円とすることにいたしました。



03.27

### CSR活動の一環として 社会福祉法人団体へ 玩具の寄付を実施しました



10月

11月

12月

2008

1月

2月

3月

11.21

女性だけのストアプロデュース  
プロジェクト「CLUB-F」が  
発足しました

11.23

アドアーズ  
池袋東口店リニューアル

12.22

アドアーズ海老名店リニューアル

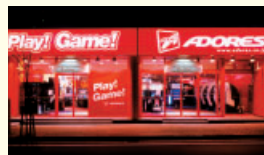
12.22

アドアーズ  
新宿歌舞伎町店オープン



12.30

アドアーズ  
大和店・B館オープン



02.17

アドアーズ  
下赤塚店  
オープン



同店は「CLUB-F」プロデュース  
による第1号店です

## 特集：持続的成長に向けた取り組み

### 01 積極的な新規出店、既存店活性化を実施

拡大成長戦略の柱である来期の新規出店は、得意とする首都圏・駅前繁華街型店舗を中心に、年間5店舗以上を目標に積極的に進めてまいります。特に既存店のあるエリアに関しては、シナジー効果を発揮できるエリアドミナント型の出店を積極的に実施し、同一商圈内での市場競争力を高め、地域独占を目指してまいります。

また、全国展開についてもマーケット環境を十分分析した上で、主要都市や集客力の極めて高い施設を中心に展開してまいります。



### 02 サービスの向上を目指して

厳しく推移する業界で最も重要な差別化は「サービス（接客力・提案力）」であると位置づけ、今期実施したお客様アンケート等を基にマーケットインの視点からの接客強化や、変わらぬクオリティ確保のための全社接客コンテストを随時行ってまいります。また接客力のみならず、新たなノウハウや新業態発掘のきっかけとなりました「CLUB-F」に代表される提案力の強化も図るため、階層別研修などによる更なる人材育成はもちろん、リアルタイム売上分析等の営業支援システムの導入も実施してまいります。



▲ 女性社員で構成される社内横断型プロジェクトチーム



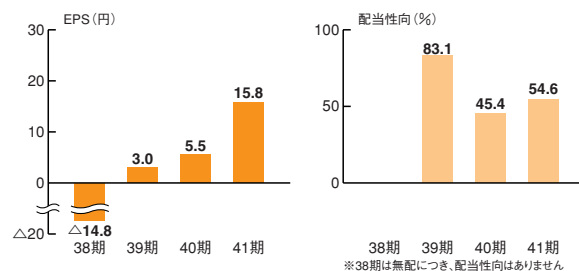
▲ サービス向上を目的に行われた全社接客コンテスト

## 03 資本政策への取り組み

株主価値向上および経営戦略・経営環境に対応した機動的な資本政策遂行のため、発行済株式総数の約28%にあたる1,800万株の自己株式の取得を実施いたしました。なお、9月には半分となる900万株の消却を実施し、一株あたりの株式価値向上を図っております。

配当につきましては、経営環境・業績の状況を勘案し、中長期的な事業計画に基づいた新規出店・既存店等の設備資金に充当するための必要な

内部資金とのバランスを配慮するとともに、利益水準・配当性向を念頭におき、株主の皆様に対する利益還元の充実を図ってまいります。



## 04 CSRへの取り組み

「夢と感動あふれる遊空間の提供を通じて、人々にうらおいと笑顔を運ぶ」ことを企業活動の原点とする当社では、上場企業としてJ-SOX・コンプライアンス（法令遵守）の内部統制・徹底はもちろん、地域密着型店舗の運営企業として良好な環境を維持し続けてゆくため、京都議定書内で定められました温室効果ガス削減を目指す「Team -6%」活動へ積極的に参加いたしております。

また、社会貢献活動に代表される環境と社会に配慮した事業活動を通じて、企業の社会的責任を果たすとともに継続的な企業価値の向上を図ってまいります。

### ●社会福祉法人団体へ玩具の寄付を実施

当社のアミューズメント施設へご来店できない方々にも「夢と感動」を提供したいと考え、社会福祉活動の一環を兼ねまして、公共の各種福祉支援団体へ玩具の寄付を行いました。

今後も継続的にこうした福祉支援団体へ玩具の提供を行ってまいります。



## 財務諸表

## ■ 貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第41期	第40期
	2008年3月31日現在	2007年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	7,866	9,065
固定資産	21,252	19,697
資産合計	29,118	28,762
<b>負債の部</b>		
流動負債	7,510	7,839
固定負債	10,792	6,972
負債合計	18,303	14,811
<b>純資産の部</b>		
株主資本	10,811	13,941
資本金	4,000	4,000
資本剰余金	5,855	5,855
利益剰余金	2,994	4,235
自己株式	△2,038	△149
評価・換算差額等	3	8
純資産合計	10,815	13,950
負債・純資産合計	29,118	28,762

注：掲載した財務諸表は、主要な項目を表示しています。また、全て単位未満を切り捨てて表示しています。

## ■ 株主資本等変動計算書 第41期 (2007年4月1日から2008年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
2007年3月31日 残高	4,000	5,855	4,235	△149	13,941	8	13,950
事業年度中の変動額							
剰余金の配当 (注)			△157		△157		△157
当期純利益			827		827		827
自己株式の取得				△3,799	△3,799		△3,799
自己株式の消却		△0	△1,910	1,910			
自己株式の処分		0		0	0		0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額 (純額)						△4	△4
事業年度中の変動額合計		△0	△1,240	△1,888	△3,129	△4	△3,134
2008年3月31日 残高	4,000	5,855	2,994	△2,038	10,811	3	10,815

注：掲載した財務諸表は、主要な項目を表示しています。また、全て単位未満を切り捨てて表示しています。  
平成19年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

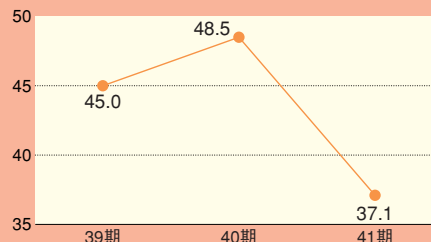
## 財務健全比率

株主資本比率

37.1%

新店開設および積極的な機器投資に加え、機動的な資本政策に向けた自己株式取得等の戦略投資を実施したため有利子負債は14,652百万円と増加いたしました。なお、取得自己株式を一部消却したことより株主資本比率は11.4ポイント減少の37.1%と下がりましたが、今後の拡大成長路線を加速することで財務基盤の改善を推進いたします。

(単位:%)



## ■ 損益計算書

(単位：百万円)

科目	第41期	第40期
	2007年4月1日から 2008年3月31日まで	2006年4月1日から 2007年3月31日まで
売上高	22,719	20,483
売上原価	17,757	16,524
販売費及び一般管理費	3,026	2,679
営業利益	1,935	1,279
営業外損益	△18	△11
経常利益	1,917	1,267
特別損益	△410	△707
当期純利益	827	348

## ■ キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

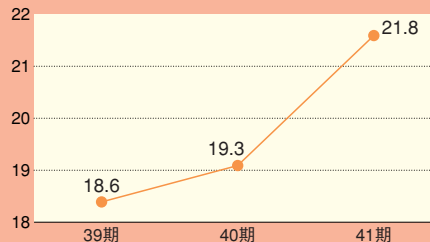
科目	第41期	第40期
	2007年4月1日から 2008年3月31日まで	2006年4月1日から 2007年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,571	5,636
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,172	△4,932
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,131	△849
現金及び現金同等物の増減額	△469	△144
現金及び現金同等物の期首残高	5,969	6,114
現金及び現金同等物の期末残高	5,474	5,969

## 収益性

売上高売上総利益率 **21.8%**

積極的な機器投資や新店開設による償却費・初期負担増があったものの、17ヵ月連続で既存店舗が前年同月を上回るなど好調さを維持したことに加え、昨年度より全社一丸となって取り組みしております。効率的な組織運営によるコスト削減により、売上高売上総利益率は2.5ポイント改善した21.8%となりました。

(単位：%)

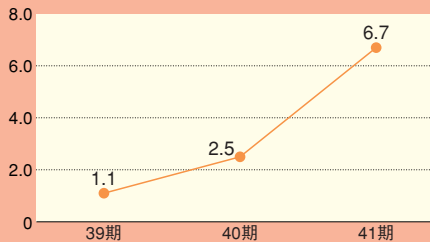


## 効率性

株主資本当期純利益率 **6.7%**

主力のアミューズメント施設運営事業の好調な業績・徹底したコスト削減、更には機動的な資本政策によってROEは前期に比べ4.2ポイントと大幅に改善し6.7%となりました。今後も売上高・経常利益の向上を最優先に、中期目標であるROE10.0%を目指してまいります。

(単位：%)



# 会社概要 / 株式の状況 (2008年3月31日現在)

社名 アドアーズ株式会社 (ADORES, Inc.)  
 創業 1964年2月11日  
 設立 1967年12月25日  
 資本金 40億円  
 社員数 360名、臨時従業員606名  
 本社事務所 〒103-0002

東京都中央区日本橋馬喰町二丁目1番3号  
 Tel. (03) 5623-1100 (代表)

事業所 海老名事業所：〒243-0415  
 神奈川県海老名市上河内19  
 神奈川トナミ運輸倉庫(株) 東名支店倉庫内  
 Tel. (046) 237-3451 (代表)

事業内容 ● 遊戯場施設の運営及び運営サポート  
 ● アミューズメント施設の企画、開発及び販売  
 ● アミューズメント施設のデザイン、施工及び監理  
 ● 遊戯機器及び遊技機器・部品のレンタル  
 ● 遊戯機器及び遊技機器・部品の修理及び保守管理業務

ホームページ <http://www.adores.co.jp/>

## 役員 (2008年6月26日現在)

代表取締役社長 中川 健男  
 代表取締役専務 八多川 昭一  
 取締役 小泉 基靖  
 取締役 石田 政三  
 取締役 石田 清貴  
 取締役 小野寺 宏昭  
 取締役 土屋 寛  
 取締役 野本 文之輔  
 常勤監査役 栗岡 利明  
 監査役 板谷 嘉之  
 監査役 川島 英明

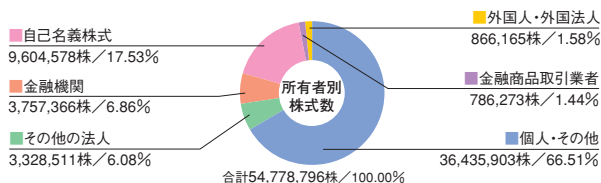
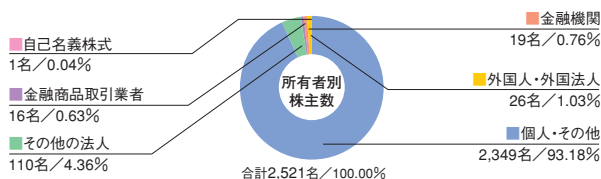
## 株式の状況

発行可能株式総数 ..... 130,000,000株  
 発行済株式の総数 ..... 54,778,796株  
 株主数 ..... 2,521名(うち、単元株主数2,006名)

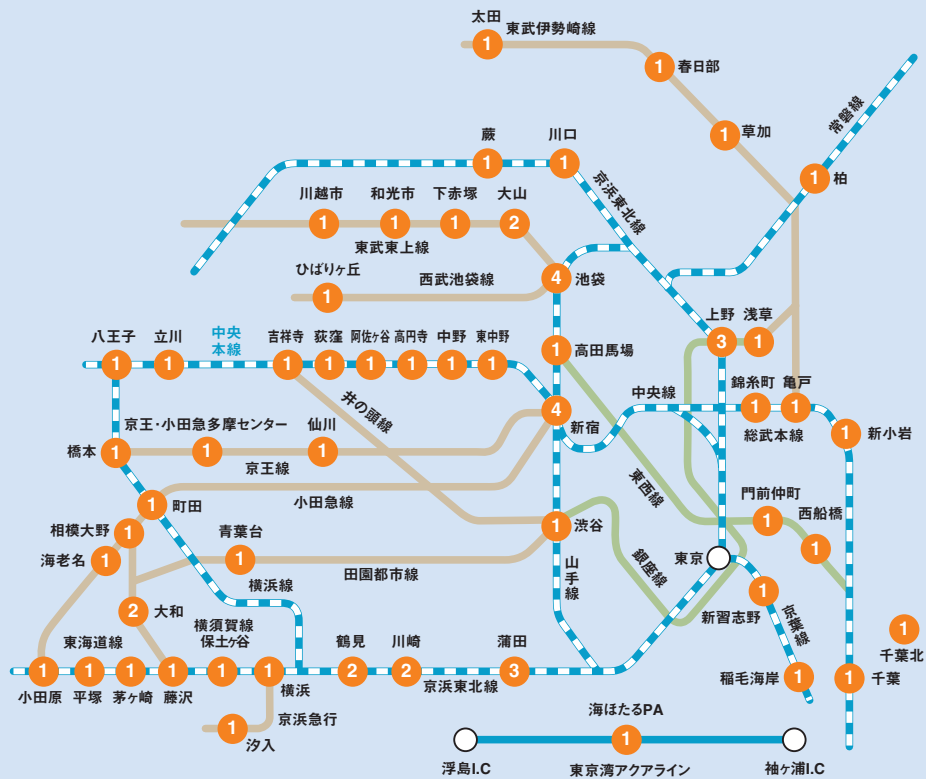
### ● 大株主

株主名	当該株主の当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
GF投資ファンド投資事業有限責任組合	20,500,000	46.04
日本証券金融株式会社	2,608,000	5.85
鈴木 昭作	2,046,486	4.59
星 久	1,030,924	2.31
株式会社スクウェア・エニックス	982,000	2.20
庄司 正英	888,000	1.99
株式会社ヤマニ興業	618,000	1.38
岡田 浩明	606,000	1.36
アルゼ株式会社	412,000	0.92
アドアーズ従業員持株会	363,965	0.81

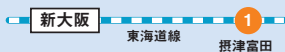
注：上記のほか、当社名義の株式が9,604,578株あります。



# 店舗ネットワーク (2008年6月1日現在)



▼大阪



▼青森



▼北海道



▼宮城



▼広島



▼和歌山



東京：36、神奈川：17、埼玉：6、千葉：7、群馬：1、大阪：1、広島：1、青森：1、和歌山：1、北海道：2、宮城：2 計75店舗

※中の数字は店舗数を表しています。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同送付先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公告方法	電子公告により当社ホームページ( <a href="http://www.adores.co.jp">http://www.adores.co.jp</a> )に掲載。 ただし、事故・その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。

- 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。

電話 (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)  
0120-684-479 (大阪証券代行部)

インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

- 単元未満株式の買増制度について

当社は「単元未満株式の買増制度」を導入しております。単元未満株式を有する方は、当社に対してその単元未満株式の数と併せて1,000株となる数の単元未満株式を売渡請求することができます。

お手続きなどの詳細につきましては、株主名簿管理人あてにご照会ください。(単元未満株式の買取請求につきましても、従来どおりお取扱いいたしております。)

## 当社ホームページのご案内

当社ホームページでは、当社の事業内容や、店舗情報、IRニュースなど、当社をご理解いただくための様々な情報を提供しております。ぜひご覧ください。

<http://www.adores.co.jp/>



## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 4712

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

[kabu@wjm.jp](mailto:kabu@wjm.jp)へ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本誌がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

# アドアーズ株式会社

ホームページ: <http://www.adores.co.jp/>  
本誌に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。  
経営企画室IR・広報グループ: (03) 5623-1115